

## 平成 28 年度 脳脊髄液減少症研修会 開催要領

### 1 目的

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷等により脳脊髄液が漏れ出すことにより、頭痛・めまいなど様々な症状を引き起こすもので、誰にでも起こりえる疾病です。このたび、治療法の一つである「硬膜外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）」が4月から保険適用となり、患者の身近な医療機関で診断・治療を受けられることとなりました。このため、脳脊髄液減少症の診断・治療における医療従事者や関係職員の知識の向上を図るとともに、患者に対する理解の促進を図ることを目的とし、研修会を開催します。

### 2 主催

山口県

### 3 後援

山口県医師会 山口県教育委員会

### 4 日時

平成28年8月7日（日） 13:30～16:00

### 5 場所

周南総合庁舎 さくらホール（周南市毛利町2-38）

### 6 対象者

医師、保健師、看護師、医療ソーシャルワーカー、行政職員、教育機関の関係者 等

### 7 内容

13:30	開会
	○医療講演会（90分） 「脳脊髄液減少症の診断と最新治療（仮題）」 講師：山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 准教授 野村貞宏 先生  ～休憩（10分）～ ○体験発表（30分） 「脳脊髄液減少症の理解 ～患者の立場から～」  ○情報提供（10分） 脳脊髄液減少症の医師専用データベースホームページ（CFS JAPAN） ～質疑応答（10分）～
16:00	閉会

### 8 申込期限・方法

8月2日(火)までに、別紙申込書を県健康増進課（FAX 083-933-2969）に提出ください。

### 9 参加費

無料

### 10 その他

日本医師会生涯教育2単位・カリキュラムコード（12、15、30、57）